



アメリカ合衆国の歴史は短い

米国のケネディ大使は一月十八日、「米国政府はイルカの追い込み漁に反対。イルカが殺される追い込み漁の非人道性について深く懸念しています」とツイッターで発言。

イルカは知的だから？

イルカは知的だから・・・と云う。裏を返すと「知的でなければ良い」となる。

「知的な人間以外は差別しても良い」とも聞こえる。黒人を劣った者として奴隷とし、今なお差別のある米国の白人ならではの発言なのか？

インドが牛を・

もし駐米インド大使が「牛は神様のお使いだから食べてはいけない」と発言したら、どうなるだろう？

う場面も含めて、多様な見方をして欲しい。外交官は相手国を

外交官は相手国を深く理解するのが役割。日本を批判する前に「イルカや捕鯨の歴史」を学んで欲しい。飛鳥時代以前からの長い日本の歴史、その間行われていた捕鯨を。

短い米合衆国の歴史

反捕鯨国の米国やオーストラリアに、白人が入植したのは十七、八世紀。学校で習う米合衆国の歴史は短い。彼らには「歴史」や「伝統」を考える習慣がないか？全ては今の自分達だけ？
そう考えると、彼らの発言が出てくる理由が分かる気がする。皆さんはどう思われますか？

餌台の雀

横浜市南区 二〇一四年二月九日



二月八日から大雪で、横浜気象台の積雪は十六cm。ところが、丘の上の我が家の北側の道は六十cmの所も。

公園の雑草は雪の下。雀たちは難民となって我が家の餌台に。

良く見ると、朝の群れと、昼の群れは別だ。朝来る集団は、警戒心が緩いのか、冒険心が強いのか、餌を呉れるジジを信頼しているのか、どんどん餌台にやって来る。

昼のグループは先ず、近くの枝に止まり、暫く様子を眺めている。

雀の生息数は全国で千八百万羽。秋には四千五百万羽までになるが、年を越せる雀は少ないらしい。

近年、家の構造が変わり、雀が巣を作りにくくなって、生息数が減っているという。

何とか、減らないでと祈っている。